

## 三重県立桑名高等学校に啓発活動用の オリジナル自転車ヘルメットを贈呈

～交通事故防止・ヘルメット着用義務化を周知～

日本損害保険協会三重損保会（会長：藤森 宗高 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 三重支店長）では、三重県警察本部の協力のもと、三重県立桑名高等学校の生徒 5 人に自転車ヘルメットを贈呈し、5 月 24 日（金）に、同校で贈呈式が開催されました。

本取組みは、三重県警察本部が県内に在学する高校生にセーフティ・バイクルリーダーを委嘱し、模範的な自転車運転等を通じて自転車交通秩序の実現を図る活動をしている中、三重損保会としてもその活動や交通事故防止に貢献したいと考え、同会からセーフティ・バイクルリーダーの活動用オリジナルヘルメットを贈呈しているものです。

当日は、桑名警察署の山澤署長からの委嘱状交付の後、藤森損保会長からヘルメット贈呈がありました。委嘱された生徒の一人である國分さんからは「今まで以上に自転車の安全運転を心がけ、周りの人にも呼びかけていく」というコメントがありました。

委嘱式終了後、委嘱された 5 人は校内の掲示板にヘルメット着用と自転車の施錠を呼びかけるポスターを貼り、下校する生徒に反射材などを配付するなど、早速活動を開始しました。

当支部では、今後も三重県警察ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。



<藤森損保会長からのヘルメット贈呈>



<委嘱された生徒 5 人と藤森損保会長（最右）>